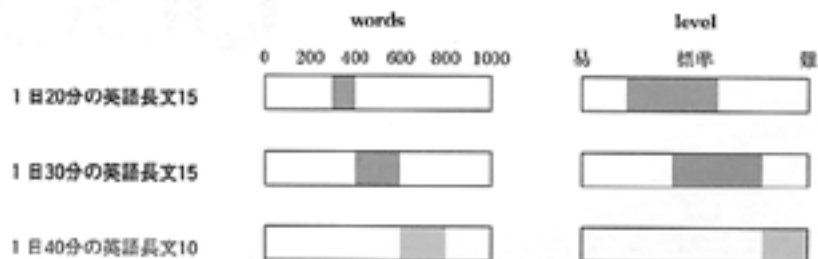


## はじめに

大学入試問題では長文読解問題が大きな割合を占め、その出来が合否を大きく左右します。しかし長文といっても複数の文が集まったものですから、一文一文の構造を正確に捉え、その内容が理解できれば長文全体の内容も理解できます。この観点から、長さや難易度を基準に4冊の長文問題集「やっておきたい英語長文」にまとめました。これらは2004年12月に刊行して以来、2008年11月までにトータル18万部以上発行し、多くの受験生の評価を得ていますが、一方、もっと英文を読みたい、制限時間内でいかに英文を読んだらいいのか、という声も私たちのもとに数多く届いていました。

みなさんも経験からわかっているでしょうが、「30分なら読めるのに」、「40分あれば全問解答できるはずだ」、ということがよくあるはずです。しかし入試においては限られた時間内にきちんと合格答案を仕上げなければなりません。そこで、私たちは今回、より解答時間を意識した問題集を作ることになりました。実際に出題された入試問題から近年の傾向を踏まえた上で、良質の英文を選び、3冊の問題集にまとめました。英文の分野も多様なものをセレクトし、設問も内容面から、また英語の理解という観点から問うべきポイントに焦点を当て、ほぼ全面的に作り変えてあります。

本書は好評を博した「やっておきたい英語長文」の姉妹書として作成しています。そのため設問解説、語句解説などの表記等を踏襲していますが、さらに詳しい解説がほしいという要望に応え **ココにも注意!** では設問にはなっていないものの、ぜひ押さえておきたいポイントを取り上げました。文法ポイントあるいは論旨の展開上重要な点について解説しています。また、**この単語に着目** では知っておくと武器になる、使える単語を取り上げています。英語学習の重要課題である語い力増強に役立つよう、また確実に覚えられるよう工夫しました。単語集を丸暗記するのではなく、覚えやすく忘れにくいコツが盛り込まれています。



「1日40分の英語長文10」は、近年の読解問題の長文化の傾向を踏まえ、600語から800語までのやや難から難レベルの英文10題で構成されています。難関大学合格のために必要な読解問題演習が行えるように工夫してあります。

本書が志望校合格を目指して努力しているみなさんの学習の一助になれば幸いです。さあ、問題1にトライしてみましょう。

著者記す

## 解答

問1 (1a) fixing (1b) adopted (1c) reflect

(1d) grew (1e) ended

問2 さて、我々にこれらの「贈り物」をくれた人々の何人かを眺めると、我々自身が彼らの業績に依存していることに関して謙虚な気持ちにさせられることは言うまでもないが、発明家の独創的な才能に対して、新たに尊敬の念がわいてくる。

問3 電信も電話の発明も電磁気学理論を適用したヘンリーの功績によるが、モースやベルほど彼の名前は知られていないということ。(58字)

問4 仮に100年前に連れ戻されたとして、メッセージを空中に飛ばして送るというようなことを思いつけるだろうか。

問5 しかし、そこまでの道を開いた驚嘆すべき発明家の話や彼らの多くの試練や困難を思い起こすと、彼らの血、汗、そして多くの場合、長く忘れられている涙がなかったなら、何も成し遂げられていなかっただろう、ということに我々は気づくのである。

問6 ア

## 設問解説

問1 (1a) 空所を含む文の主節は「我々は赤ん坊と同じくらい無力である」という意味。したがって、どのようなときに「無力である」と感じるのかを考えればよい。or 以下の「目の前でフリーズしたコンピュータに対処する」に着目し、一般の人にはそれと同様に困難なこととして「ビデオ機器を修理する」とすれば文意が通る。when it comes to A は「Aということになると」という意味の慣用表現。to は前置詞なので fix を動名詞の形にする。

(1b) Henry's name is little known 「ヘンリーの名前はほとんど知られていない」の理由が because 以下である。そのためには「ヘンリーの発想がモースに借用され特許をとられた」とすればよい。したがって、adopt を受動態の形にすればよい。

(1c) to make an electric current ( 1c ) voice patterns は make O do 「Oに…させる」の形が用いられたもの。この部分はベルの電話の発明に関するも

問5 recalling the ... and hardships の動名詞句が主語、makes が make O do 「〇に…させる」の使役動詞で用いられた形である。who paved the way は the amazing inventors を修飾する関係代名詞節、the amazing ... the way と their many trials and hardships が and で結ばれている。realize that 節は「…だとわかる」という意味。that 節内は without their ... long-forgotten tears に条件の意味が含まれている仮定法過去完了。なお、無生物主語なので、解答例のように主語を副詞的に訳出すると、自然な日本語が得られる。

- recall 「を思い出す」     amazing 「驚嘆すべき」     pave the way 「道を開く」  
 trial 「試練」     hardship 「困難」     achieve 「を成し遂げる」  
 blood 「血」     sweat 「汗」     long-forgotten 「長く忘れられている」

問6 ア、「とても多くの役立つ発明品を持っていて我々は幸せだけれども、多くの人はそれらがどのように機能するのかわかっていない」第1段落第2・3文の内容に一致。

イ、「電気はヨーロッパで最初に発明され利用された」第3段落第1文の内容に不一致。

ウ、「最初の商業用電信の影響は小さくなかったが、きちんと受けとめられるのに長くかかった」第3・4段落第4・5文の内容に不一致。

エ、「ハインリッヒ・ヘルツは36歳で無線電信を発明した」第8段落第2文の内容に不一致。

**ココにも注意!**

問4 および問5 で仮定法が問われている。仮定法では条件節を倒置文(疑問文の語順)にすることで、If を省略することができることもある。

例1 Were I you, I would buy it.

「もし私があなたなら、それを買うのに」

= If I were you, I would buy it.

また、条件節が表現されずに、主語や副詞句に「もし…ならば」という条件の意味が含まれる場合がある。if 節のない仮定法は、条件節が文の要素に潜在しているので「潜在仮定法」と呼ばれることもある。

例2 Ten years ago, I could have swum across this river.

「10年前だったなら、この川を泳いで渡ることができただろう」